



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和6年度 地域学校協働本部事業

「復興に向けた学びを通じた協働のまちづくり事業」

地域連携担当教職員等研修会（相双地区研修）

令和6年6月24日（月）13:20～16:30 ・参加者：24名 ・会場：浪江町地域スポーツセンター

◎講話「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進について」

昨年に引き続き、今年度も ふくしま学校と地域の未来研究所・文部科学省総合教育政策局CSマイスターの**安齋裕之先生**をお招きし、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動とはどういうものなのか？」について、実践例を踏まえながら説明をいただきました。社会に開かれた教育課程を実現していくために、「学校と地域の連携や関わり方」、「価値ある教育目標」、「CSの導入に向けた自治体の取組」等についてもご指導いただきました。



校長のときは、「熟議」を使って、みんなの思いや夢を語り合っ、教育目標を考えました。まず「どんな子供を育てたいか（どんな力を身につけさせたいか）、どんな学校にしたいか、どんな地域にしたいか」について話し合い（熟議を行ったとき）、出てきたキーワードは、「自分の頭で考える子、課題解決力、創造力、楽しい学校、笑顔、多様性、子供の幸せ、地域の未来、地域のつながり、共生、協働」でした。決定した教育目標：「楽しいことを考えよう！」

◎実践事例「浪江町のいま～震災以降、地域と学校・家庭はどのように関わってきたのか～」

浪江にじいるこども園長 **馬場隆一先生**からは、震災以降、「学校と地域がどのように関わり、企業や家庭の協力を得たのか。また、地域学校協働活動とは、どのようなものなのか。」を教えてくださいました。「運動会」をやろうという声から、組織を立ち上げ、子どもたちのために一致団結して学校行事を進めてきた様子や復興に向けた浪江町の取組など、大変貴重なお話ばかりでした。現在も浪江町は、独自のスタイルで地域学校協働活動・コミュニティ・スクールの実現に向けて取り組んでいます。参加者にとってもお手本となる、意義深い実践事例の発表でした。

【参加者の感想】 ・いろいろな立場の方々の意見が聞けて、貴重な機会となりました。学校と地域の連携・協働は、生徒たちの教育に欠かせないものなので、課題解決に前向きに取り組んでいきたいと思ひます。



・地域と繋がっているようで、繋がっていないという課題が見えて、CSとは改めて何なのかという原点を考える機会をいただきました。「みんなで役割を担う」考え方を学校に持ち帰りたいと思ひました。

・学校・行政・地域の連携について、これまで話し合う場が無かったので、とてもよい研修会でした。学校側の時間が無いという意見に歩み寄りが足りなかったと感じました。どうしたら、学校と地域の連携が良くなるのか考えていきたいと思ひます。

※ 大変貴重な御意見・御感想ありがとうございました。

